

令和8年7月21日
都市局街路交通施設課

「拠点」と「軸」でアチコチお出かけを促進 ～都市交通施策の再整理に関する検討会 中間とりまとめ～

これまでの都市交通施策の展開を踏まえつつ、コンパクトで持続可能な都市構造の実現や、外出の動機となるウォーカブルな都市空間の創出を進めるため、都市交通施策を再整理し、必要となる施策の検討を目的として、「都市交通施策の再整理に関する検討会」を2月17日(火)に設置し、「都市交通軸ワーキンググループ」、「拠点エリアワーキンググループ」を含めて、これまでに9回開催し、議論を深めてきました。

この度、都市交通施策の再整理に関する検討会の中間とりまとめを公表します。

■とりまとめのポイント

- 近年、外出率が減少傾向にあり、総体として人々の「活動量」が減っている、『マチ』が『イエ』に負ける」とも呼べる状況を踏まえ、本検討会では、これからの都市交通施策の方向性をとりまとめました。
- 人々の外出の動機となる「拠点エリア」では、ウォーカブル施策を今一度見直し、プレイス性・回遊性・アクセス性を高めるとともに、そこへのアクセスを支える「都市交通軸」では、公共交通を中心に、従来の「需要対応型」から「需要創出型」への転換を図ることが重要です。
- さらに、「拠点エリア」と「都市交通軸」の密接な連動を生み出すため、まちづくりと交通をより一層一体的に検討する包括的な計画体系への転換を図ることが重要です。こうした取組を通じて、「気軽にアチコチお出かけしたくなる・できる街」の実現に向けた取組を推進します。

■中間とりまとめの公表

- ・ 概要版（別紙2のとおり）
<https://www.mlit.go.jp/toshi/content/002012444.pdf>
- ・ 本編
<https://www.mlit.go.jp/toshi/content/002012445.pdf>
- ・ これまでの検討経緯
https://www.mlit.go.jp/toshi/toshi_gairo_tk_000106.html



【問い合わせ先】

都市局 街路交通施設課 高濱、倉田

TEL : 03-5253-8111(内線 32842、32835)、03-5253-8417(直通)

都市交通施策の再整理に関する検討会

委員名簿

【委員】（◎：座長 ○副座長、敬称略 50音順）

（学識者）

姥浦道生 東北大学災害科学国際研究所 教授
 ○大沢昌玄 日本大学理工学部土木工学科 教授
 小嶋 文 埼玉大学理工学研究科 准教授
 藤村龍至 東京藝術大学 准教授
 三浦詩乃 中央大学理工学部都市環境学科 准教授
 ◎森本章倫 早稲田大学理工学術院社会環境工学科 教授

（地方公共団体）

宇都宮市 都市整備部
 岡山市 都市整備局
 神戸市 都市局 都心再整備本部
 山形市 まちづくり政策部

【関係省庁】

国土交通省	総合政策局	地域交通課
	都市局	国際・デジタル政策課
		まちづくり推進課
		都市計画課
		市街地整備課
		公園緑地・景観課
	道路局	路政課道路利用調整室
		企画課評価室
警察庁	交通局	交通規制課

【事務局】

国土交通省 都市局 街路交通施設課

これからの都市交通施策の方向性

～「拠点」と「軸」でアチコチお出かけを促進～

都市交通施策の再整理に関する検討会 | 中間とりまとめ (概要)

令和 8 年 7 月

1 | 背景

- 若者を中心とした外出率の低下
- 政策理念と計画・事業の乖離 等

まちがイエに“負ける”社会

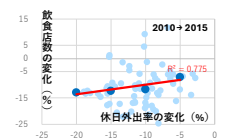
外出率の低下



公共交通軸でのサービス水準悪化



外出と経済の関係



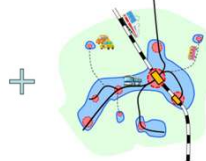
まちあるき、交流、娯楽など「**まちを楽しむ**」外出を増やし、健康・エネルギー・経済など**包括的な観点から都市の活力の再生**を図る

2 | 目指す都市の姿

気軽にアチコチお出かけ
したくなる・できる街



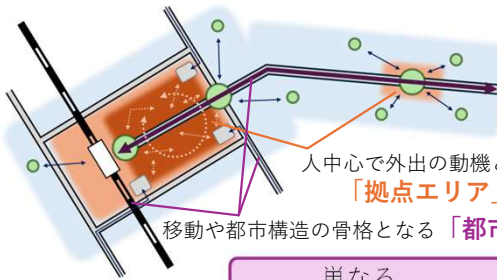
イエに負けない
人を集める拠点



拠点への
出かけやすさ

実現に向けて

まちづくりと一体となった都市交通計画の充実



単なる
ネットワーク軸

多様な交通手段による
拠点へのアクセス軸

単に
「集まる」
場所
↓
「時を過ごす」
拠点

3 | まちづくりと一体となった都市交通計画の充実

まちづくり施策と都市交通が
一体となった包括的計画

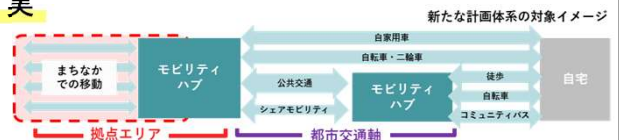
密接に連動

包括的計画の実効性を高める
都市交通に関する計画

政策目標の
実現力の強化

需要創出型の計画
横断的モビリティ計画

- バックキャスト型の目標
- 都市の包括的目標への寄与

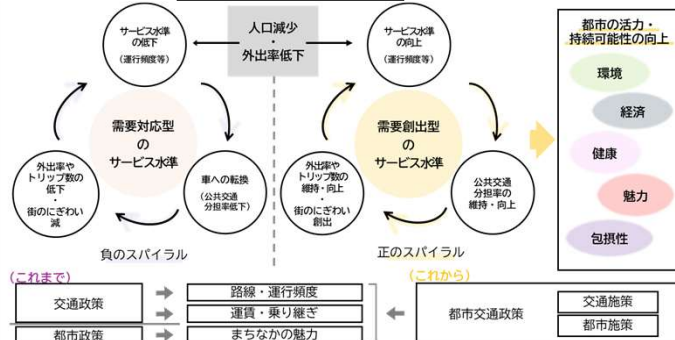


《取組の方向性》

- まちづくりに関する包括的な計画への位置づけ
- 地区交通計画の実効性の向上
- 「拠点」と「軸」を連動するプランの実現

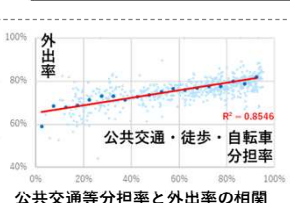
4 | 都市交通軸の強化

- 都市交通軸を担う公共交通は、都市政策と密接な連携のもと「**需要対応型**」から「**需要創出型**」へ発想を転換し「**正のスパイラル**」を創出



《取組の方向性》

- サービス水準の向上
 - 運行頻度、定時性・速達性 等
- 公共交通の需要創出
 - 居住誘導、運賃・乗り継ぎ 等
- モノも含めた移動環境構築
 - 物流まちづくり



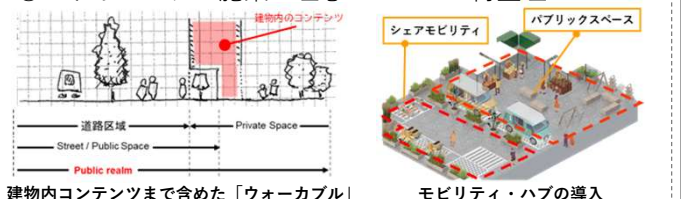
5 | 拠点エリアの魅力や快適性の向上

- 様々な交通モードが適正に処理された**人中心で魅力ある都市空間**を多様な主体と連携し創出



《取組の方向性》

- 自動車交通の適正な処理
- 多様な主体との連携
- アクセシビリティ・回遊性・プレイス性の向上
- ウォーカブル施策の理念レベルでの再整理



6 | さらなる検討事項

- 都市政策と交通政策の実効的な連動強化や各地域への施策展開を図るための方策
- 「拠点」と「軸」の強化を一体的に進めるための事業制度等の改善・充実の方策
- 自動運転等の進展を見据えた中長期的な視座に立った都市交通施策のあり方 等